

NPO 法人岡崎がくどうの会

放課後児童支援員都道府県認定資格研修レポート

科目①『放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容』

科目⑨『子どもの遊びの理解と支援』

科目②『放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護』

科目⑩『障害のある子どもの育成支援』

科目③『子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ』

科目⑪『保護者との連携・協力と相談支援』

科目④『子どもの発達理解』

科目⑫『学校・地域との連携』

科目⑤『児童期（6歳～12歳）の生活と発達』

科目⑬『子どもの生活面における対応』

科目⑥『障害のある子どもの理解』

科目⑭『安全対策・緊急時対応』

科目⑦『特に配慮を必要とする子どもの理解』

科目⑮『放課後児童支援員の仕事内容』

科目⑧『放課後児童クラブに通う子どもの育成支援』

科目⑯『放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守』

【クラブ】（ たけのこクラブ ）

【名前】（ 加藤 優花 ）

全16回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

私が講義を受けて特に心に残ったことは、本当の意味で子どもに寄り添うということです。どうしても大人が目線や主観で、ケンカはあまりしてほしくないからと未然にケンカを防ぐため仲介にはいたり、おせっかいでこの方が上手くいくからとアドバイスしたりしてしまっていますが、子どもにとってしたい事、してほしい事、必要なことは他にあるということを知り、それは子どもの気持ちに寄り添っていないと気づかせていただきました。例えば、ケンカは子どもにとって自分がやりたいことは、相手もやりたいことだという考えから、自分と友達の思いは違うということに気づき学べるチャンスであるということを知り、ケンカをさせないことよりも、支えることが大切だと学びました。

また、環境づくりや生活・運営・自然災害についても、すべての事が子どもの安全と安心につながるということも学びました。保護者の方や学校との連携や、出席確認などについても、当たり前なことや単純なことほど、大切に丁寧に行うことの大切さを知りました。特に、私達も日頃行っている出欠確認は、命の安全確認である大切な事ということをお忘れなくしたいです。